

じっ せん
実践

技芸科会

だより

第47号
最終号
技芸科会発行



日本刺繍 泰山木 高梨 京子

今年の冬は全国で記録的な積雪となりましたが、梅は芽吹き、桜は開花を待っています。四年ぶりの技芸科会だよりになりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうかお伺い申し上げます。

昭和四十三年、他の科に先駆けて技芸科会の会報誌をわずかな発起人で発行に至った戸野原須賀子先生が、昨年四月に一〇一歳でお亡くなりになりました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。五十年の節目にもあたり、会員の高齢化に鑑み、科会としての役割も閉じる事になりました。

会報誌の発行は長きにわたり技芸科会と同窓生の皆様に支えられ、また支えてもきたと自負しております。歴代編集者と同窓生の皆様の努力と情熱、ご協力に心より感謝申し上げます。

学園の方では、二〇十九年五月に創立百二十周年を迎える事となり、岩村にての式典・東京での祝賀会を、新天皇ご即位に伴う新しい年号の始めに行う予定です。

渋谷校地に学部の一部が戻って四年、皆様の想い出の地も益々発展を続けています。

各講習も、今後は同好会として続いてまいりますので新しい皆様もどうぞ、桜会会館にお出かけください。



いあごう

会長 中岡久恵

戸野原須賀子様のご生涯

大正4年8月3日 川崎に生まれる
 昭和11年～ 実践女子専門学校技芸科卒業後、技芸科助手を経て
 川崎市立向丘青年学校教諭、母校技芸科助教授を勤める
 戦後は、民生委員、横浜家庭裁判所家事調停委員
 保護司、人権委員などを歴任
 昭和55～58年 桜同窓会理事長
 平成2年まで 実践女子学園評議員
 昭和62年 勲5等瑞宝章受章
 平成13年 実践桜会100周年記念表彰
 平成16年 実践女子学園より特別功労賞授与
 平成17年 戸野原須賀子奨学金規定を実践女子学園にて施行
 平成29年4月29日 101歳にて逝去されました



「戸野原須賀子さまを偲ぶ会」報告

平成二十九年九月七日 また、第八代桜同窓会理事
 (木)一般社団法人教育文化
 振興実践桜会主催により、
 故・戸野原須賀子さまを偲ぶ
 会が渋谷の実践桜会会館にて
 開催されました。

戸野原様のご親族お二人を
 はじめ、実践女子学園からも
 井原徹理事長、城島栄一郎学
 長のご臨席がありました。
 長きにわたり戸野原様のお
 世話をされたヘルパーの小田
 原様は、戸野原様の下田歌子
 先生への敬愛の想いをお側近
 場で感じ取っていらしたお立
 場であり、その事を熱心に
 語ってくださいました。

戸野原様の遺影の周りに
 は、皆様を持ち寄られたお写
 真が散りばめられ、懐かしい
 思い出語りや数々のエピソードが披露され、ご本人を存じ
 上げない世代を含め、総勢四
 十九名の出席者にとつて、忘
 れられないひと時になりました。



平成三十年三月二十三日(金)に
 は、実践桜会理事九名と技芸科会
 二名で、東京都多磨霊園の戸野原
 家墓所に行つてまいりました。
 暖かな日差しに青空のお彼岸日和
 のもと、ご遺贈の御礼とご報告を
 兼ねたお参りをさせて頂きまし
 た。





戸野原須賀子先生を偲んで

技芸科昭和十九年卒

出田清子

春に先駆け梅の花が咲き、そして卒業式、入学式の桜の季節を迎えます。

私共が慣れ親しんだ技芸科会だよりも今回で最終号となりました。

技芸科会を閉じるにあたり、技芸科会を創設下さいました戸野原須賀子先生を偲び一筆書かせて頂きます。

昭和十七年当時、技芸科に入学する際は「編物」と「刺繍」のどちらかを選ぶことになっていました。私は「刺繍」を選び、その結果、担任

は戸野原先生(旧姓 清宮先生)となりました。

先生は当時まだお若く、お姉さんのようにやさしく接してくださいました。

私はよく学校で体調を崩していましたが、先生はその事を気にかけて下さり、一対一の面談の折にも私の体調を心配して下さいました事が印象深く残っております。

そして平成二十七年七月三十日、先生の百歳のお祝いの会が行われました。

同年十一月に多摩川の鉄橋を渡って、ご自宅に先生の最後の教え子の石戸さんと私の同じクラスだった桑原さんと三人でお訪ね致しました。

その時先生は、目を瞑られたままスプーンで食事をなさっておられました。

私共が話しかけますと、無言で涙が頬を伝っております。

その後、ご容体がお悪いと聞き、平成二十九年四月八日に技芸科会中岡会長と委員の方々と共にお見

舞いに上がりました。先生の温かい柔らかいお手を握らせて頂いたのは

教え子として初めての事でした。先生はかすかなお声で、「足元にゐる人だあれ」と囁かれました。

みんなびつくり致しました。

その後、四月二十九日に亡くなられたとの一報が入りました。

ご葬儀は学校関係者は数名での参加と喪主である清宮家からのご要望でしたので、私共は、その前の五月六日にご自宅に伺い最後のお別れをして参りました。

九月七日には実践桜会として「偲ぶ会」が開催されました。私も昔の写真を持参して戸野原先生との懐かしい思い出などお話しさせて頂きました。

そして、九月十一日、長年、先生のお身のまわりをお世話して下さいました小田原様のご案内で、石戸さんと私と二人で先生の眠る多磨霊園にお参り致しました。

広大な墓地には、同じ実践卒の向田邦子さんはじめ吉川英治さん等、著名人も多数眠られていま

す。

学祖下田歌子先生をお慕いし尊敬されていた戸野原先生は私達教え子のみならず、沢山の方々に下田先生の教えを引き継ぎ道を開いて下さいました。

戸野原先生、長い間ありがとうございました。

慎んでご冥福をお祈り致します。



日本刺繍

戸野原須賀子

(小田原貴彗様 所蔵)

《 想 い 出 の 人 と 作 品 》



日本刺繍 専門技芸 S16卒 澤田 尋
(実践桜会に寄贈、会館に掲示)



ハーダンガー刺繍
専門技芸 S16卒 原 京子

- ・ハーダンガー刺繍教室 毎月第2木曜日
 - ・染色（楓会） 毎月第2火曜日
 - ・編物の会 毎月第3金曜日
 - ・日本刺繍（萌黄会） 閉会致しました
- 各教室は桜会へお問い合わせください



【編集スタッフ】

石戸昭子 高梨京子
出田清子 竹内雅子

あとがき

技芸科会だよりも皆様のご協力でこれまで四十六回重ねて参りました。この最終号の発行に際しましては、桜会理事長、鈴掛様及び事務のスタッフの方々に、ご盡力頂き大変有難く心より御礼申し上げます。会の発足以来「紙人形」「袋物」「俳句」等、又、現在では「日本刺繍」「染色」「編物」「ハーダンガー刺繍」等が科を問わず愛好者の集いの場となっており、これらは同好会として残すことになりました。

今年度も桜会バザーが開かれ心のもった手作り品が大変好評頂きました。会員の皆様、これからもお元気でお過ごしください。

※会計報告は、後日 桜会ホームページに掲載させて頂きます。

★桜会バザーへのご寄贈・ご寄付は年間を通してお受け致しております。

一般社団法人 教育文化振興実践桜会

〒150-0011 渋谷区東一ー四〇

☎ 〇三ー三四〇七ー七四五九

FAX 〇三ー三四九九ー〇八三五